

日機装株式会社

株式会社 JPI (日本計画研究所)
JAPAN PLANNING INSTITUTE
◆推奨部署、関係者の方へもご回覧ください◆

事業開発部長 様

17606-17 03-3473-4963

ビジネスに直結する最先端情報セミナー

JPI(日本計画研究所)は、政策、施策、ナショナルプロジェクトの進捗を常に取り上げ、ネット情報では得られない最新の生の情報を、ご参加者を限定したリアルな特別セミナーという形で提供。その情報をもとに他に先駆けた戦略立案、人脈形成にお役立ていただいております。

車載・定置・極限環境での応用可能性と今後の展望を詳説

無機系全固体電池の実用化最前線 ～酸化物型・硫化物型の比較と用途別展開～

講師

一般社団法人 電力中央研究所 EX研究本部 エネルギー化学研究部門
エネルギー変換・貯蔵ユニット 上席研究員

こばやし たけし

小林 剛

博士(工学)

(敬称略)

開催日

2025年12月19日(金) 午前9時30分～午前11時30分 (開場:午前9時)

会場

JPIカンファレンススクエア 東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル ☎ 03-5793-9761

受講料

1名 37,390円(税込) 2名以降 32,390円(社内・関連会社で同時お申し込みの場合)

※地方公共団体ご所属の方は、2名まで11,000円(税込)

但し、会場受講またはライブ配信受講限定。2名様のご受講形態は同一をお願いいたします。

講義概要

無機系全固体電池は、次世代の蓄電技術として注目されており、主に酸化物型と硫化物型の2つの材料系が、それぞれ異なる特性を活かして開発が進められています。本講演では、まず車載用途で主流となっている硫化物型全固体電池の開発動向と技術課題を紹介し、その後、酸化物型全固体電池の極限環境や定置型電力貯蔵用途における可能性と課題について詳しく解説します。両材料系の比較を通じて、適用領域や開発戦略の違いを明らかにするとともに、セラミックス企業や国の支援施策の動向を紹介

1. 無機系全固体電池の材料分類と用途別ニーズの整理
2. 硫化物型全固体電池の開発状況と車載用途における技術課題
3. 酸化物型全固体電池の技術動向と極限環境・電力貯蔵用途への展開
4. 電力中央研究所における研究開発:焼結技術と評価手法の取り組み
5. 関連質疑応答
6. 名刺交換・交流会

■通常交流の難しい講師及び受講者間での名刺交換・交流会で人脈を広げ、事業拡大にお役立ていただいております。

申込・お問い合わせ

株式会社JPI(日本計画研究所) ☎ 03-5793-9761 ✉ info@jpi.co.jp

詳細・お申し込みは <https://www.jpi.co.jp> から!

17606

検索



お客様のご都合でキャンセルされる場合は、必ず開催1週間前 2025年12月12日(金) 17時までにFAXまたはメールにてご連絡ください。

今後、最新セミナー情報のメール配信ご希望の方は、メールアドレスご記入のうえ、右記へ☑を入れてください。

☐

FAXでのご案内が不要な方は、右記に番号をご記入のうえ、FAX:03-5793-9767へご返信ください。【FAX:

-

-

】

日機装株式会社

株式会社 JPI (日本計画研究所)
JAPAN PLANNING INSTITUTE
◆推奨部署、関係者の方へもご回覧ください◆

事業開発部長 様

17606-17 03-3473-4963

ビジネスに直結する最先端情報セミナー

JPI(日本計画研究所)は、政策、施策、ナショナルプロジェクトの進捗を常に取り上げ、ネット情報では得られない最新の生の情報を、ご参加者を限定したリアルな特別セミナーという形で提供。その情報をもとに他に先駆けた戦略立案、人脈形成にお役立ていただいております。

車載電池/リチウムイオン二次電池 電池材料(活物質、電解液、セパレータなど) 電池産業の脱中国依存

EVの新時代を支える車載電池及び車載電池材料市場 その最新動向とビジネスチャンス

講師

株式会社 富士 経済

エネルギーシステム事業部 第二部 主任

さとう こうじ

佐藤 浩司

(敬称略)

開催日

2025年12月25日(木) 午前9時30分～午前11時30分 (開場:午前9時)

会場

JPIカンファレンススクエア 東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル ☎ 03-5793-9761

受講料

1名 37,630円(税込) 2名以降 32,630円(社内・関連会社で同時お申し込みの場合)

※地方公共団体ご所属の方は、2名まで11,000円(税込)

但し、会場受講またはライブ配信受講限定。2名様のご受講形態は同一をお願いいたします。

講義概要

昨今、大手EVメーカーの販売減速、米国政権による関税政策などにより、EV失速やハイブリッド自動車再評価といった従来のEV一辺倒の市場展望に対する変化の機運が高まっている。

一方、日本や欧米諸国が掲げる2050年カーボンニュートラルの実現において、EVは最有力手段であることに変わりはなく、上述した逆風下においても市場規模は拡大を続けている。従来の楽観的なEV普及論から現実的なEV普及論に変化するなかで、車載電池および車載電池材料の役割も変換点を迎える可能性が高い。

本講義ではEVの新時代といえる産業動向における車載電池および車載電池材料市場の最新予測や新規技術トレンドを含めたビジネスチャンスについて詳説する。

■通常交流の難しい講師及び受講者間での名刺交換・交流会で人脈を広げ、事業拡大にお役立ていただいております。

申込・お問い合わせ

株式会社JPI(日本計画研究所) ☎ 03-5793-9761 ✉ info@jpi.co.jp

詳細・お申し込みは <https://www.jpi.co.jp> から!

17502

検索



お客様のご都合でキャンセルされる場合は、必ず開催1週間前 2025年12月18日(木) 17時までFAXまたはメールにてご連絡ください。

今後、最新セミナー情報のメール配信ご希望の方は、メールアドレスご記入のうえ、右記へ☑を入れてください。

☐

FAXでのご案内が不要な方は、右記に番号をご記入のうえ、FAX:03-5793-9767へご返信ください。【FAX:

-

-

】

日機装株式会社

株式会社 JPI (日本計画研究所)
JAPAN PLANNING INSTITUTE
◆推奨部署、関係者の方へもご回覧ください◆

技術開発部長 様
17575-7 03-3473-4963

ビジネスに直結する最先端情報セミナー

JPI(日本計画研究所)は、政策、施策、ナショナルプロジェクトの進捗を常に取り上げ、ネット情報では得られない最新の生の情報を、ご参加者を限定したリアルな特別セミナーという形で提供。その情報をもとに他に先駆けた戦略立案、人脈形成にお役立ていただいております。

大崎クールジェン株式会社

2016 年度からの実証運転の成果と今後の計画

最新鋭石炭火力発電「酸素吹 IGCC」の カーボンニュートラル社会と社会実装に向けた挑戦

講師

大崎クールジェン株式会社 代表取締役社長

きくち てつお
菊池 哲夫

(敬称略)

開催日 2026 年 1 月 20 日 (火) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 30 分 (開場: 午後 1 時)

会場 JPIカンファレンススクエア 東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル ☎ 03-5793-9761

受講料 1名 37,700円(税込) 2名以降 32,700円(社内・関連会社で同時お申し込みの場合)

※地方公共団体ご所属の方は、2名まで11,000円(税込)

但し、会場受講またはライブ配信受講限定。2名様のご受講形態は同一でお願いいたします。

講義概要

石炭ガス化により得られる水素を含む燃料ガスによって高効率発電を可能にし、高い負荷調整力を実現する酸素吹IGCCを核とする革新的発電技術の実現を目指す大崎クールジェンプロジェクトでは、これまでIGCCにCO₂回収機能を付加し劇的に低炭素化を図るシステムや、燃料電池を組み込み高効率化を図るシステムの確立に向けた実証開発を行って来た。その後、難易度の高いバイオマス混合ガス化にも成功。CO₂回収と組み合わせでカーボンニュートラルの実現を視野に収める。今年度からは実運用を想定した、電力システムの安定化に資する実証試験等に着手。より実践的なフェーズに入った大崎クールジェンの近年の取り組みについて詳説する。

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. プロジェクトの背景 | 4. 実践的段階に入ったCO ₂ 分離回収型IGCC |
| 2. 酸素吹石炭ガス化技術 | 5. 関連質疑応答 |
| 3. 大崎クールジェンプロジェクト(第1~3段階)の実績と成果 | 6. 名刺交換・交流会 |

■通常交流の難しい講師及び受講者間での名刺交換・交流会で人脈を広げ、事業拡大にお役立ていただいております。

申込・お問い合わせ

株式会社JPI(日本計画研究所) ☎ 03-5793-9761 ✉ info@jpi.co.jp

詳細・お申し込みは <https://www.jpi.co.jp> から!

17575

検索



お客様のご都合でキャンセルされる場合は、必ず開催1週間前 2026 年 1 月 13 日 (火) 17 時までにFAXまたはメールにてご連絡ください。

今後、最新セミナー情報のメール配信ご希望の方は、メールアドレスご記入のうえ、右記入欄を入れてください。

FAXでのご案内が不要な方は、右記に番号をご記入のうえ、FAX:03-5793-9767へご返信ください。【FAX:

-

-

】